

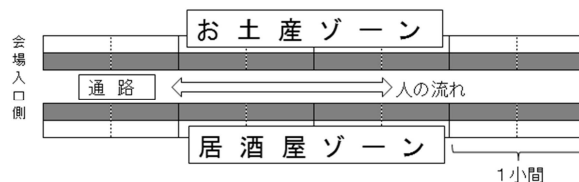
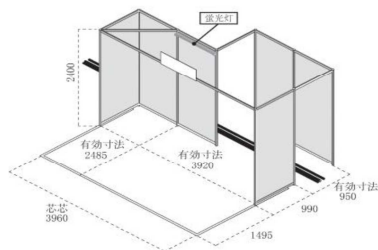
「ふるさと祭り東京2020」和歌山県ブース等
企画運営業務仕様書

1 「ふるさと祭り東京2020」の概要

- (1) テーマ：日本のまつり・故郷の味
- (2) 期 間：令和2年1月10日（金）～19（日）10日間
- (3) 場 所：東京ドーム（東京都文京区後楽1-3-61）
- (4) 会場構成：お祭りひろば、ふるさとステージ、にぎわい市（約300ブース）
- (5) 主 催：ふるさと祭り東京実行委員会（フジテレビジョン、文化放送、東京ドーム）
- (6) 来 場 者：前回実績… 424,401人/10日間
- (7) 入 場 料：未定（前回実績：大人1,700円）

2 和歌山県ブースの概要

- (1) 名称：「わかやま紀州館」
- (2) 1小間の仕様：間口3960mm×奥行2485mm×高さ2400mm
- (3) 県ブースの仕様：居酒屋ゾーン（実演販売）4小間と通路を挟んでお土産ゾーン4小間が並ぶ計8小間（下図参照）
- (4) 出展事業者：計12事業者（1小間枠：4事業者、0.5小間枠：8事業者）
- (5) 事業者の配置：県が配置を決定する



3 委託業務の内容

- (1) 業務名 「ふるさと祭り東京2020」和歌山県ブース等企画運営業務
- (2) 委託上限額 2,990千円（消費税及び地方消費税の額を含む）
- (3) 業務内容

テーマは「気軽に立ち寄れ、飲み食いできる屋台横丁」とし、以下のア～オの業務を行うこと。

ア 和歌山県ブース「わかやま紀州館」の出展・運営準備

- ・出展事業者が主催者に提出しなければならない届出書類のほか、消防署や保健所等への各種許可申請書類等を取りまとめるうえ、提出すること。また、主催者や出展事業者との連絡調整を行うこと。
- ・出展事業者が借用する什器、必要備品等の手配と設営、撤去を行うこと。

- ・実演販売ブースの必要な設備のうち、「2 槽シンク」及び「天井防塵ネット」を主催者よりレンタルすること。
- ・出展者説明会を和歌山市内で開催すること。

イ 「わかやま紀州館」の装飾及び運営

- ・「わかやま紀州館」の装飾は、「気軽に立ち寄れ、飲み食いできる屋台横丁」をイメージしたものにし、和歌山県ブースとして一体感があること。
- ・ブース装飾は、ブースのコンセプトや和歌山らしさを来場者に訴求できるものとする
- こと。
- ・ブース装飾は、会場が暗転した際にも、和歌山県ブースが目立つように工夫すること。
- ・和歌山県ブースの入口壁面等を活用し、ブース内の出展事業者の案内ができる工夫を凝らすこと。
- ・ブース装飾に関しては、ふるさと祭り東京2020出展ガイドブック（令和元年10月頃実行委員会から発表予定）に準ずること。
- ・「わかやま紀州館」の運営は、常時スタッフを配置し、突発的な案件にも対応できる体制を整えること。

ウ 「わかやま紀州館」への集客及び出展事業者の売上向上のための企画立案及び実施

- ・「わかやま紀州館」への集客を図るとともに、来場者の購買意欲を高め、出展事業者の売上向上が見込める企画を立案、実施すること。

エ 「ふるさとステージ」における企画及び運営

- ・和歌山県出身の著名人等を活用するなど、来場者に対して和歌山県を強く印象付けられる、「食に関する」企画を立案し、実施すること。
- ・装飾や制作、出演者との連絡調整、必要備品の搬出入、撤去、必要な許可申請等を行うこと。
- ・ふるさとステージ終了後、聴衆者を「わかやま紀州館」に誘導する工夫を行うこと。

オ その他

- ・委託業務に関する事項については、県食品流通課と密接な連絡調整を図りつつ、実施すること。